

第1回 核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ 議事録（要録版）

日時 2013年4月16日（火） 14時00分～16時00分

場所 秋葉原ダイビル18階 第2会議室

出席者（敬称略，順不同）

主査：

池田泰久（東工大）

副主査：

村松健（東京都市大）

幹事：

阿部仁（JAEA），深澤哲生（日立GE），浅沼徳子（東海大）

委員：

井上正（電中研），清水武範（JAEA），竹内努（東芝），塚田毅志（電中研），平野光将（JNES），
眞部文聡（MHI），丸茂俊二（電事連）

オブザーバ：

久野祐輔（JAEA/東大），小玉貴司（JNFL），関根啓二（JNFL），松岡伸吾（JNFL）

配付資料

- ・資料 1-0 議事次第
- ・資料 1-1 核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究WGの設置について
- ・資料 1-2 SAWGの進め方について
- ・資料 1-3 核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究WGメンバー案
- ・参考資料 核燃料施設等の新規制基準に関する検討チーム第1回会合(4/15)資料

議事概要

1. 主査挨拶及びメンバーの委嘱と承認（資料 1-3）

池田主査による挨拶の後，副主査，幹事，委員，オブザーバの順に出席者による自己紹介が行われた（欠席者については主査が紹介）。日本原子力学会再処理・リサイクル部会の規約に則り，井上部会長よりメンバー委嘱され承認された。なお，依頼中の方については本人の承諾が得られ次第，メンバーとして就任いただくこととした。

2. 設立趣旨の説明（資料 1-1）

池田主査より本WGの設立趣旨について説明があり，内容について議論がなされた。本WGの趣旨として，科学的・技術的観点から考えうる事象を洗い出し，核燃料サイクル施設におけ

るシビアアクシデント (SA) とは何かを具体化するために検討していくことで合意が得られた。

3. WG の進め方 (資料 1-2)

3-1 メンバーの変更・追加及び代理出席等

メンバー構成に偏りのないよう中立性・客観性を重視したうえで、メンバーの追加変更を可能とし、その都度 WG で承認を得ることとした。代理出席を認めること、オブザーバは発言権を有するものの議決権を有しないことを確認した。

3-2 検討方針案

国の新規規制基準の策定スケジュールを勘案し、本 WG での検討内容を提言できるように進めることとした。次回の WG では、六ヶ所再処理工場における事故と対策の例をもとに、SA の考え方 (判断基準・根拠) について議論する。また、村松副主査より性能目標検討のための予備知識として各種情報を紹介いただく。

なお、本 WG の活動内容の公表方法として、再処理・リサイクル部会ホームページに議事要録版の掲載を実施することとした。

以上